

提案競技選定評価表

項目		評価視点	配点
基本事項	① 基本事項	事業の目的・業務の趣旨を十分に理解し、企画全般に反映しているか	10
	② 業務実績	過去5年間に類似事業(高齢者の社会参加支援、高齢者のチャレンジへの支援等)の実施実績があるか	5
	③ 市内の連携	福岡市内の企業や団体との本業務に有効な連携や、本業務において強みとなるものがあるか	5
実施体制	① 業務体制	法人として確実に業務を遂行できる体制が組まれているか	5
	② 人員配置・育成	コーディネーターの配置に関して、効果的に幅広く業務を遂行できる適切な人選が見込まれ、従事者のスキル習得・向上、研修等によるフォローアップ体制があるか	10
	③ 業務分担	統括コーディネーターと各センターを拠点に活動するコーディネーターの役割は適切であるか	5
実施スケジュール		業務を遂行するにあたり、効率的かつ現実的なスケジュールとなっているか	5
事業内容	①	ライフステージの変化や高齢期に対する新しい価値、ポジティブなイメージの醸成のための効果的な提案が行われているか	5
	②	世代を超えて、高齢者を対象とする活動や高齢期をキーワードにした活動の促進や支援のための効果的な提案が行われているか	5
	③	多様な主体と連携・協働する効果的な提案が行われているか	5
	④	社会参加の支援 地域の課題解決に向け、高齢者の力が発揮できる効果的な提案が行われているか	5
	⑤	生きがいや自己実現に向けた行動の後押し、サポートのための効果的な提案が行われているか	5
	⑥	社会参加活動のすそ野を広げる視点での提案が行われているか	5
	⑦	リニューアル後の施設の活用を想定した効果的な提案が行われているか	5
情報の保護		情報の漏洩を防止するための具体的な管理執行体制、従事者の研修体制が構築されているか(プライバシーマーク登録、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)認証等の取得がある場合は5点)	5
見積りの適正性		実施内容と比して明らかに低すぎる見積りが提示されていないか(例えば、次期以降の業務を獲得することを前提とした低価格で提案を行っていないか)	5
その他、特筆要素		特筆すべき事項がある場合、加算を行う 【例】 ・本格実施に向けた新たな視点でチャレンジした魅力的な提案となっている ・本業務に直接活用できる、有用性の非常に高い実績やノウハウを保有している ・本業務の遂行にあたって、他には見られないほどの画期的かつ効果的なアイデアが提案されている など	10
計			100

【評価の基準】

(1)各評価項目について、A、B、C、D、Eの5段階評価とする。

(2)評価点は以下のとおりとする。

＜配点10点の項目の場合＞
配点5点の評価点数の2倍とする。ただし、間の評価点を用いても構わない。

＜配点5点の項目の場合＞

A = 5点
B = 4点
C = 3点
D = 2点
E = 1点

(3)評価委員の合計評価点の60%を基準点とする(評価委員5人全員が選定委員会に出席した場合の満点は500点、基準点は300点)。
基準点に達しない場合は不適格とする。

【評価の目安】

A … 非常に優れている
B … 優れている
C … 普通
D … やや劣っている
E … 劣っている